

金沢市議会意見交換会

金沢の農業と森づくり プラン2025について



平成28年7月25日

金沢の農業と森づくりプラン2025とは

プランの概要も一緒にごらんください

1. プラン策定の背景・目的

- ・平成19年「金沢の農業と森づくりプラン」の策定から約10年経過
→ 農林業を取り巻く環境は大きく変化

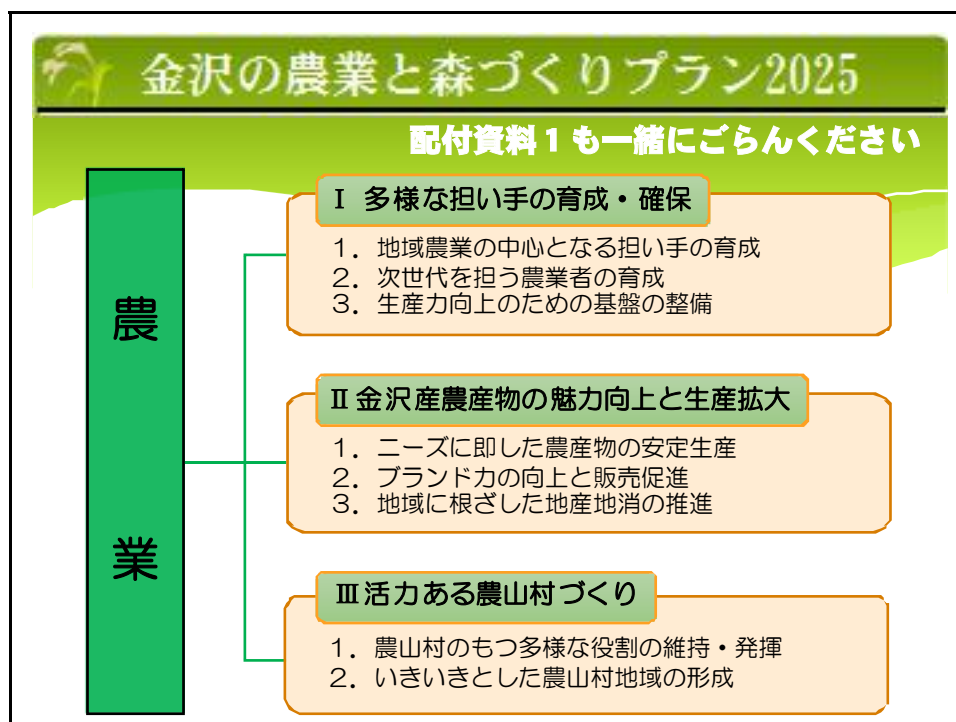
- ・農林業の持続的な発展と農山村の活性化を推進するため、
施策の方向や目標、取組を明確にした新たなプランを策定

2. プランの位置づけ

- ・“世界の「交流拠点都市金沢」重点戦略計画(平成26年)”に
基づく本市農林業の振興計画
- ・農林業の健全な発展に向けた総合的かつ計画的な取組の指針

3. プランの目標年次

平成37年度(平成28年度～平成37年度)



I 多様な担い手の育成・確保

◆地域農業の中心となる担い手の育成

- 認定農業者の育成**

○認定農業者制度の周知や支援制度の活用

< 認定農業者数 >

平成27年度	平成37年度(目標)
233経営体	260経営体
- 集落営農組織の育成**

○研修会等の開催による組織化の推進

< 集落営農組織数 >

平成27年度	平成37年度(目標)
22組織	32組織
- 担い手への農地集積の推進**

○人・農地プランの作成による担い手の明確化

< 担い手への農地集積率 >

平成27年度	平成37年度(目標)
53.8%	75.0%

【大麦の収穫】

【水稻の収穫】

I 多様な担い手の育成・確保

◆次世代を担う農業者の育成

■ 金沢農業大学校による担い手育成

○ 修了生の就農状況等

区 分	研修生数	修了後の状況	
		就 農	その他
1～9期生	85	61 (72%)	24 (28%)
10期生	6	研修中	
11期生	10		
合 計	101	61	24

※ 大学校修了生就農支援(農地借上、基盤整備、機械整備等に助成)



【金沢農業大学校の研修】



【農巧会講習会】

■ 新規就農者の状況

農業大学校 修了生	農業法人等 への就業者	農家の子弟	その他	合計
61	73	39	20	193

< 新規就農者数 >

H18年度～27年度(10年間)
193人(H27:24人)

H28年度～37年度(10年間:目標)
200人

I 多様な担い手の育成・確保

◆生産力向上のための基盤の整備

■ 生産基盤整備の推進

- 農作業の効率化・省力化を図るための圃場の大区画化
- 畦畔除去等の支援

整備前



整備後



【大型圃場整備(才田地区)】

■ 農業用施設の長寿命化の推進

- 農道や水路・ため池の
定期的な点検及び補修



【ため池の点検】

II 金沢産農産物の魅力向上と生産拡大

◆ニーズに即した農産物の安定生産

■ 水稲：「うまい・きれい金沢産米づくり運動」等の推進

○晩植コンヒカリ作付けの推進

■ 野菜：高品質・安定生産の推進

○パイプハウス・遮熱被覆資材の導入支援

○栽培マニュアルの見直しと作成

■ 果樹：高品質・安定生産の推進

○品種特性を活かした適正な栽培管理

○新品種の導入による産地の強化

■ 花き：有望品種の導入による産地の活性化

○パイプハウスの導入による品質の向上

○切り花葉ぼたん等の有望品種の普及拡大・販売促進



【大根園場】



【切り花葉ぼたんの収穫】

II 金沢産農産物の魅力向上と生産拡大

◆ブランド力の向上と販売促進

■ 金沢ブランド農産物の情報発信

○加賀野菜・金沢そだちに関する情報発信の強化
・HP及び品目別レシピのリニューアル

○加賀野菜取扱店・料理提供店制度を活用したPR

○首都圏での生産者による加賀野菜PR

＜ 加賀野菜取扱店数 ＞

平成27年度	→	平成37年度(目標)
139店		200店
(販売店62店、提供店77店)		



【生産者による加賀野菜PR】

■ 農産物の販路の拡大

○6次産業化による加工品開発や販路開拓に向けた支援

・農産加工アドバイザーの派遣

・加工用施設の導入等支援 など



【加賀野菜イメージキャラクター ペジタン】

II 金沢産農産物の魅力向上と生産拡大

◆地域に根ざした地産地消の推進

■ 金沢産農産物の利用拡大

- 学校給食等での利用拡大推進
- 加賀野菜等の金沢産食材を使った料理教室の開催



【加賀野菜を使った料理教室】

■ 市民との協働による地産地消と食育の推進

- 生産農家と保育園児、小中学生との交流会
- 金沢おやこ農業体験塾の開催
- 農業まつり等のイベント開催支援



【金沢おやこ農業体験塾】

■ 金沢の食文化の継承と魅力発信

- 伝統野菜サミット、金沢フェア等の開催
- 篤農家聞き書き集の発行



五感に
ごちそう
かなざわ

【金沢の食文化の継承及び振興のためのシンボルマーク】

III 活力ある農山村づくり

◆農山村のもつ多様な役割の維持・発揮

■ 地域ぐるみによる農地等の保全

- 日本型直接支払制度の活用による農地等の保全と遊休農地の発生防止

＜日本型直接支払制度の取組面積＞

平成27年度	→	平成37年度(目標)
2,536ha		2,740ha



【ワークショップの開催】

■ 地域コミュニティの維持

- 学校跡地等の活用による地域の拠点の整備
- 中山間地域活性化ビジョンの策定支援
・ワークショップ(意見交換会)の開催

■ 鳥獣被害の防止対策の強化

- 研修会や講習会等の開催
- イノシシ対策マニュアルの周知
- 電気柵や捕獲檻導入等に対する集落への支援



【電気柵の設置】

Ⅲ 活力ある農山村づくり

◆いきいきとした農山村地域の形成

■ 新規就農者等の誘致による移住・定住の促進

- 遊休農地や空き家を活用し、就農希望者等を市外から誘致
- 首都圏で新規就農セミナーや移住就農体験ツアーの開催
- 地域おこし協力隊を活用し、地域の活性化を支援

■ 地域資源の有効活用による活性化

- 地域住民や大学との協働による特産物づくり
- 朝市、直売所の開設推進・支援

■ 都市住民との交流の推進

- 滞在型市民農園の整備
- 米やそば、ブランド農産物等のオーナー制度の導入



【じねんじょのレシピの開発】



【大根のオーナー制度】

金沢の農業と森づくりプラン2025

配付資料2 も一緒にごらんください

森 づ く り

I 健全な森林の育成・整備

1. 森林の適正な管理・保全・整備の推進
2. 効率的で持続可能な林業経営の実現
3. 病虫害及び獣害対策の推進

II 森林資源の活用拡大

1. 金沢産材の利用拡大
2. 未利用森林資源の活用

Ⅲ 森づくり活動の推進

1. 森に親しむ活動の推進
2. 市民や企業等との協働による森づくりの推進

I 健全な森林の育成・整備

◆民有林再生支援事業

<森林整備面積>

平成27年度 平成37年度(目標)
180ha/年 → 200ha/年

I 市単事業(ふるさとの森づくり協定締結地区:135地区)

補助率 80% 老齢木伐採、荒廃竹林伐採、枝打ち 等

II 国庫補助事業への上乗せ補助

市補助率 15~25% 間伐、下刈り、植栽 等

※制度改正(新植の補助率を引き上げ)

◆森林境界の明確化

<森林境界明確化面積>

平成27年度 平成37年度(目標)
6,822ha → 7,800ha

○市街地への転居、相続などにより
所有者不明の森林が増加

○地元立会のもと、境界測量を
実施



【地元と現地立会】



【GPS測量】

I 健全な森林の育成・整備

◆金沢林業大学校の運営

○目的 森林管理、林産物の生産を担う
次世代の人材育成

○開校 平成21年4月

○研修期間 2年(年間40日程度)

○対象者 研修修了後、林業に従事する
意欲のある人(65歳以下)
*現在、4期生 14名が研修中
(2年目、平均年齢 46歳)

○研修内容 林業機械、森林整備の実習
特用林産物の栽培学習 など



【道具の手入れ】



【市営造林で講座】

I 健全な森林の育成・整備

◆金沢海岸 松林再生事業

○住民やボランティア団体と協働で、海岸の松林を再生

○平成20年度から、抵抗性クロマツを植栽

・第1期(H20～H24) 2,000本／年

・第2期(H25～H29) 1,500本／年

○場所:打木、下安原、専光寺、金石・大野、五郎島、粟崎



【被害状況】



【専光寺】



【金石】

II 森林資源の活用拡大

◆公共建築物等の木材利用促進

○公共建築物で金沢産材の利用を促進



【城北市民運動公園 金沢プールの外装材】



【天板の取替】

◆ぬくもりの教室整備

○小学校の教室の床や壁を、金沢産材の床、板に張り替え

＜ぬくもりの教室整備数＞

平成27年度 平成37年度(目標)
29校 → 60校

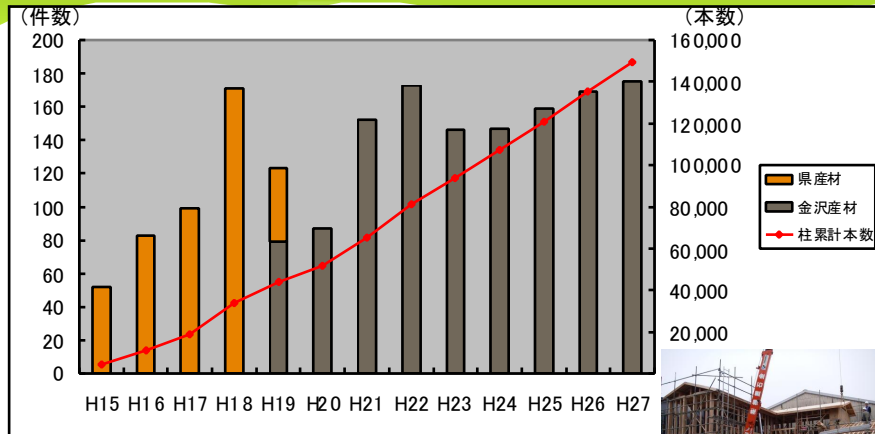


【H27 芝原中学校】

II 森林資源の活用拡大

◆木の家づくり奨励事業

・スギ柱 50本以上 2,800円/本、限度額25万円
 ・内、外装材(上乘せ) 1,000円/㎡、限度額 5万円



平成27年度認定 175件
 (事業開始からの累計本数 150,977本)



III 森づくり活動の推進

◆「金沢の森育」推進

○「金沢の森育広場」の設置

近江町交流プラザのちびっこ広場を
金沢産材で改修



○ 森づくり専門員の出前講座

小学校などで森や木の役割を知る
出前講座や木工作教室を開催



◆「山の日」創設記念イベントの開催

○ キゴ山で「金沢森林フェスタ」を開催

8月11日(木・祝)

・森と木のクイズ
 ・林業体験塾
 ・林産物フェア 等



【こどもたちの木工作】

Ⅲ 森づくり活動の推進

◆企業・市民団体の森づくり活動



【きんしん・東原の森】



金沢産材マスコットキャラクター
「かなりん」

【校下婦人会連絡協議会】



議会での質問応答

①耕作放棄地などの有効活用について（平成26年6月）



農作業を楽しみたい人や元気な高齢者など、農業に親しみたい人たちに、加賀野菜や金沢そだちを育ててもらふ耕作放棄地や保全管理水田の有効活用のための施策があってもよいと思うが、どうか。

- ・提案のあった施策は、農地の保全や、その方たちの健康増進などの点で、大きな効果、意義があると思う。
- ・国では、都市農地の多様な機能の維持と増進について検討しているところなので、国の動向を踏まえて研究を進めていきたい。



議会での質問応答

②第2次プラン（新プラン）について（平成27年3月）



新プランの策定に当たり、課題をどのように捉え、特に力点を置くことは

- ・農業では、担い手の育成、集落営農等によるコストの低減、加賀野菜等の付加価値化などが、森づくりでは、企業や市民団体など多様な組織による森林の整備や利用等が課題
- ・農業や森づくりを支える人々の意見を反映しながら重点的に取り組んでいく



議会での質問応答

③若手就農者への支援策について（平成27年12月）



この地で専業農家としてやりたいと決意した若者が、半年たっても住居が決まらないようなケースがあると聞くが、本市ではどのような支援策があるのか

農業大学校修了後は、農地の借り上げなど初期投資、栽培技術を向上するための現地指導、JAなどと連携した市場や直売所への出荷などの支援を行うほか、農業大学校の研修カリキュラムに経営に関する講座を取り入れて、農業経営者としての自立を支援している

